

アグリ・フード 2015.4 サポート

AGRICULTURE & FOOD BUSINESS SUPPORT*AGRICULTURE & FOOD BUSINESS SUPPORT*AGRICULTURE & FOOD BUSINESS SUPPORT*AGRICULTURE & FOOD BUSINESS SUPPORT*AGRI

特集 アグリフードEXPO東京2015

第10回記念 6次化の先駆者—EXPO仲間大集結





目次

Contents

特集 アグリフードEXPO 東京 2015

開催のごあいさつ	3
出展者を募集します	4
データで見るEXPOのあらまし	6
教えて！ 出展までの流れと準備のポイント	8
バイヤーが求める逸品のポイントは何？	10
EXPO仲間 この成功者たち	12
第8回アグリフードEXPO大阪 2015開催速報	14

資金紹介

青年等就農資金で新たな農業経営をサポートします！	16
--------------------------	----

インフォメーション

メール配信サービス登録受付中	17
----------------	----

定期相談窓口

全国で定期相談窓口を開催中	18
---------------	----

公庫本支店窓口

公庫本支店窓口のご案内	20
-------------	----

- 上記写真／2月19、20日に開催された第8回アグリフードEXPO大阪2015の会場の様子。今回は476先が出展し、工夫を凝らしたブースの展示や試食などでバイヤーに商品をPRし、活発な商談が行われました。詳細については14ページをご覧ください。

- 撮 影／河野 千年

第10回記念「6次化の先駆者－EXPO仲間大集結」

「アグリフードEXPO東京」は本年8月の開催をもちまして第10回を迎えます。これまでご出展、ご来場いただきました大勢の皆さまに感謝を込めて厚くお礼申し上げます。

今回は、その節目に当たって「6次化の先駆者－EXPO仲間大集結」をテーマにうたっています。農業の6次化の先駆者として直販や加工に率先して取り組んでこられた、これまでの全ての出展者の皆さま、支えていただいたバイヤーの皆さまに幅広くお声かけし、会場も拡大して開催いたします。

また、募集に当たって農業・食品の生産管理、流通、包装、鮮度保持に関連した6次化を直接支援する事業者の皆さまの出展も呼びかけるとともに、新たにご出展される皆さまにご利用しやすい「農業者のチャレンジコーナー」なども設けております。当日の会場では、展示商談会だけでなく、参加者の皆さまの交流会も開催します。

この記念のEXPOの場が皆さまの幅広い交流の一助となり、これからの皆さまの経営の飛躍につながることを祈念しています。

「国産」にこだわった、全国的な展示商談会です

食の安全・安心への関心が高まる中、国内農業や国産農産物に対する消費者の耳目が集まってきています。

「アグリフードEXPO」は、日本公庫のお客さまである全国各地で魅力ある農産物づくりに取り組んでいる農業者の皆さまや、地元産品を活用した多様なこだわり食品を製造する食品メーカーの皆さまに、広域的な販路拡大の機会をご提供いたします。

出展者の皆さまとバイヤーとの商談を通じ 「農と食」をつなぎます

出展者の皆さまには、国産農産物および加工品を個別の出展ブースに展示いただき、来場される各業種のバイヤーの皆さまとの商談に臨んでいただきます。開催規模は、750小間を予定しています。

また、年末商戦に向け取引意欲の高まっているバイヤーの皆さまに足を運んでいただけるよう、日本公庫のお客さまや協賛先の業界団体に幅広くご案内いたします。商談、情報収集の場として、ぜひ、ご参加ください。

国産農産物と加工食品の展示商談会

第10回 アグリフード EXPO 東京 2015 出展者を募集します

◇ 日時

8月18日(火) 10:00～17:00
8月19日(水) 10:00～16:00

◇ 会場

東京ビッグサイト 西1・2ホール
〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1
<http://www.bigsight.jp/>

◇ 募集期間

2月19日(木)～5月15日(金)

◇ 募集小間

750小間
1社当たり2小間を申し込みの上限とします。
1小間内に出展できるのは2社までです。

◇ 出展対象者

農業者…国内で農業を営む方
食品製造・加工業者…国産農産物(水産物を除く)を主原料とする食品を主として扱う国内食品製造・加工業者
6次化支援技術を提供する事業者
(限定35小間)

◇ お申し込み方法

事務局HP掲載の「出展申込書」裏面の出展規則および以下の留意事項にご注意いただき、「出展申込書」に必要な事項を漏れなく記入の上、事務局までFAXまたはE-mailにて提出してください(詳細はP9をご覧ください)。

※口頭や電話での申し込みは受け付けておりません。

◇ お願いしたいこと

- ・申し込みは先着順となります。なお、日本公庫のお客さまを優先して受け入れる場合があります。
- ・出展者決定に当たっては、日本公庫による審査があります。
- ・出展内容が開催趣旨にそぐわない場合は、出展をお断りすることがあります。

- ・出展申込書に記入もれがある場合は、申込書を受理できません。
- ・出展者(共同出展者含む)は、必ず開催期間中両日とも会場に来られる方に限ります。製品のための展示はできません。
- ・共同出展の場合は、申し込み期限内に必ず共同出展者を決定してください。
- ・申し込み多数の場合、5月15日(金)以前に募集を締め切ることがあります。
- ・出展募集締切後の申し込み、小間数の変更は受け付けられません。
- ・ブース装飾を行う場合は、主催者が定めた装飾基準に従ってください。また、ブース装飾のために装飾会社などを利用する場合は、事前に主催者の同意が必要となります。

◇ ご来場対象者

- 小売業(食品)
百貨店、量販店、スーパーマーケット、生協、食品専門店、コンビニエンスストア、通信販売、野菜・果物・肉販売店など
- 商社・卸売業・流通業
商社、市場、仲卸、食品卸、食肉卸、輸出業、物流業など
- 外食業
日本料理店、西洋料理店、中華料理店、外食チェーン・レストラン、料亭、宴会施設など
- 中食業・給食産業
総菜、給食、仕出し・ケータリング、弁当販売店、食事宅配など
- 食品製造・加工業
畜産加工(肉製品、乳製品)、野菜・果実缶詰、漬物、みそ、調味料、パン、菓子、清酒、清涼飲料、冷凍食品、麺類、豆腐、製茶など
- 健康食品・美容産業
健康食品、自然食品、美容商品

● 宿泊業（ホテル・旅館）・旅行業

ホテル・旅館、旅行代理店など

● 生産者・組合

農業者、種苗業者、農協、農業関連団体など

● 行政組織・学術機関

国・自治体、在日公館、学術・研究機関、その他団体など

◇ 個別商談会のご案内

出展者のご商談機会の創出をサポートいたします

会場内の出展者のブースをご覧いただき、自由に商談できる展示商談会です。当日は専用の商談スペースを利用して、ゆっくりと商談していただけます。次の個別商談会の機会を提供させていただく予定ですが、事前予約制となっており、出展者の皆さまの新たなビジネスチャンスをサポートいたします。

※本個別商談会は、商談のご成約を確約するものではありません。

● 出展者が希望されるバイヤーと個別商談

国産農産物に特に関心が高いバイヤーを各分野から招聘しています。出展の皆さまには、招聘するバイヤーをご案内（5月予定）いたしますので、個別商談を希望される場合は、お申込みください。出展者・来場者双方のビジネスチャンスの創出と具体的な出会いの場を提供いたします。なお、応募者多数の場合は申し訳ありませんが、抽選とさせていただきます。

● 日本公庫お取引先バイヤーと個別商談

日本公庫のお取引先である食品関連バイヤーを募集しています。バイヤーから個別商談のご希望のあった出展者の皆さまは、ぜひ、ご参加ください。

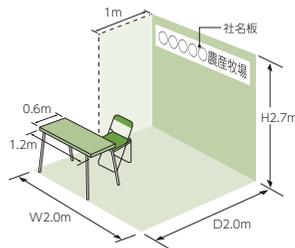
◇ 展示ブース

1小間 (2.0m×2.0m) ¥ 97,200 (税込)

※ブースの面積を変更することはできません。

● 料金に含まれるもの

- ・ システム壁（背面）
- ・ 社名板（15文字まで）
- ・ テーブル（1.2m×0.6m）1台
- ・ パイプ椅子1脚



● 展示について

- ・ 全ての出展者が必ず角小間となるよう配置します。2面（正面＋側面）が開放となり、来場者と接する機会が増えるようにサポートしています。
- ・ 境界線が隣の出展者と接する場合は、側面に壁（幅1m）を設置します。
- ・ 会場レイアウト（展示ブース配置）については、都道府県ごとのブロック（農業・食品の生産管理、流通、包装、鮮度保持に関連する事業者の方を除く）に分けて配置します。都道府県ブロックの配置は、公平にローテーションしています。

● 電気の使用

照明やパソコン、そして機材の使用のために、電気コンセントを小間内に設置することができます。工事費および使用料金は、出展者のご負担になります。

● 備品などのレンタル

展示、試食に関わるさまざまな備品をレンタルすることが可能です。椅子やテーブルから、冷蔵・冷凍ケースまで幅広く準備しています。レンタル料金は、出展者のご負担になります。

● 装飾について

「アグリフードEXPO」は展示商談会であり、大掛かりな装飾を必要とするイベントではございません。開催趣旨にそぐわないと思われる過度な装飾はご遠慮いただいております。

● 試食・試飲について

- ・ 試食・試飲活動は、バイヤーの皆さまとの接点になる重要な作業です。“おいしい”や“なるほど”という機会が、出展製品への理解度を深め、名刺交換や商談のきっかけとなりますので、できる限り実施しましょう。
- ・ 試食・試飲を行う場合は、保健所への申請が必要となります。申請手続きは、事務局が一括して行います。
- ・ 会場内に複数カ所設置する共同手洗い設備「試食用共有キッチン」（有料）の利用、もしくは、ブース内への手洗い設備・作業台の設置（有料）により、試食・試飲の実施が可能になります。詳しくは、事務局までお問い合わせください。

● 農業者のチャレンジコーナー（限定24小間）
アグリフードEXPO初出展者限定

1小間 (1.5m×1.5m) ¥ 64,800 (税込)

● 料金に含まれるもの

- ・ システム壁（背面）
- ・ 社名板（15文字まで）
- ・ テーブル（1.2m×0.6m）1台
- ・ パイプ椅子1脚

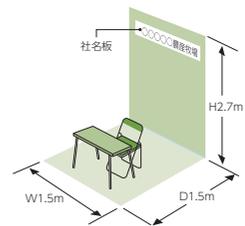
※アグリフードEXPOに初めて出展する農業者限定のトライアルブースです。

※試食の提供ができません。

※角小間の提供はできません。

※1小間内に出展できるのは、1社までです。

※ブースの面積を変更することはできません。



データで見るEXPOのあらし

アグリフードEXPOでは毎回、出展者と来場者双方にアンケートを実施し集計。開催レポートを取りまとめ、次回開催の改善に役立てています。レポートの中から、出展者が感じているメリットや来場されたバイヤーの意向などをご紹介します。

■ 出展者の6割がリピーター

2006年の第1回EXPO開催以来、出展者は徐々に増加し、14年に開催された第9回の出展者は624先、来場者数は12,698人と、全国有数の国産農産物・加工食品の展示商談会となっています。

出展者のリピート率は60%となっており、多くの方に継続してご出展いただいています。

※2日間にわたってご来場された方も1人としてカウントされています。

EXPO東京への出展者と来場者の推移



■ 商談で成約の道

さらに1カ月後に出展者に行ったアンケートによると、1,117件の商談が行われています。第9回の開催期間中に商談があった出展者1社当たり平均の商談件数は14件、成約件数は4件、成約金額は151万円と多くの商談が成約しました。

第9回EXPO東京2014の商談結果

	1社平均	最高
商談件数	14件	200件
成約件数	4件	60件
成約金額	151万円	3,000万円
1日当たりのブース訪問者数	312人	4,700人

※いずれも開催期間中の数字

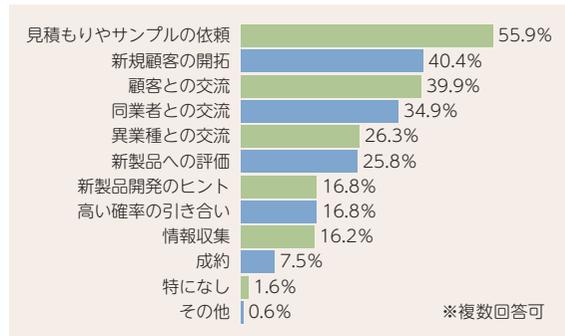
■ 実感できる出展成果

多くの出展者が、「見積もりやサンプルの依頼」「新規顧客の開拓」など商談関連の効果のほか、業者間の交流やバイヤーからの商品への評価など、多岐にわたる出展の成果を実感しています。

第9回における出展者の満足度は93.4%とご好評をいただいています。

出展成果

(以下全てのグラフは第9回データによる。)

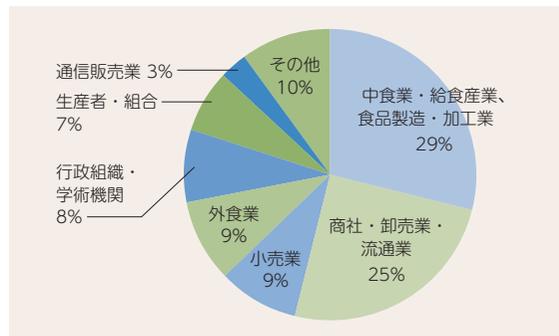


■ 大消費地での販路を拡大

EXPO東京は、国産の食材を求める食品製造業、こだわり食品を発掘したい卸売業など、各業種のバイヤーが来場されます。

地域別にみると、関東を本拠地としているバイヤーが80%を占めています。東京を含めた大消費地で販路を拡大したい方のニーズにお応えします。

来場者の業種

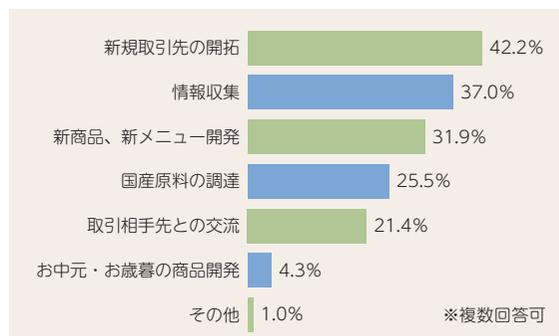


■ 新規開拓で年末商戦も

EXPO東京は、バイヤーがお歳暮・年末商戦に向けて商材集めを行う時期に開催しているため、多くの方が「新規取引先の開拓」「情報収集」などを目的として来場されます。

来場目的がはっきりしており、購買意欲の高いバイヤーが多いことが特徴です。

来場者の目的



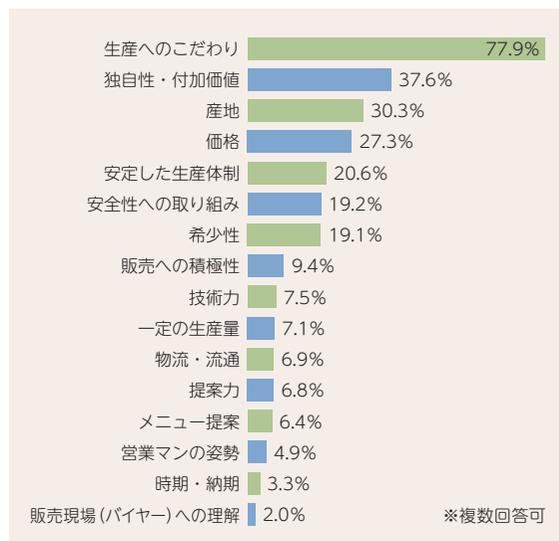
■ こだわりや独自性を重視

EXPO東京に来場したバイヤーが取引で重視する点は「生産へのこだわり」が77.9%と最も高く、続いて「独自性・付加価値」が37.6%、「産地」が30.3%と、「価格」の27.3%を上回っています。

価格のみを重視するバイヤーだけではなく、国産農産物やこだわり食品が持つ付加価値性について理解のあるバイヤーにお越しいただいています。

第9回に来場したバイヤーの満足度は97.5%と、高い評価をいただいています。

来場者が取引で重要視する点



教えて!

出展までの流れと準備のポイント

「販路を開拓したいけど、商談会のイメージがわからない」「当日までに何を準備したらいいの?」という方へ、出展申し込みから出展前日までの流れ、出展のポイントをご紹介します。

出展の申し込みから当日までの主な流れ

	時期	事務局	出展者
出展申し込み	2月19日(木)～ 3月中旬～4月末	出展者募集開始 出展説明会の開催(*1)	出展申込書の提出 出展申込書受理の連絡(*3)
	5月15日(金)	出展者募集締め切り(*2)	
	5月下旬	出展者マニュアル配布	
出展準備	6月		出展者プロフィール提出 試食・試飲の申請 ポイント① 備品レンタル申し込み ポイント② パンフレットなどの作成 ポイント③
	7月	特別招待状の配布(無料)	ご来場いただきたいバイヤーに配布(自社ブースへの訪問者数の向上に活用)
	8月上旬	会場内ブースの配置発表	
	8月17日(月)	搬入・装飾日	
8月18日(火)・19日(水) アグリフードEXPO開催当日			
	9月	出展成果アンケート	アンケートへのご協力をお願いします。

- *1 募集期間内に東京および大阪のほか、全国各地で開催予定。詳細は、公式ホームページをご覧ください。よりよい商談会の参加に向けて、説明会の開催をご希望の場合は、お気軽にお申し付けください。
- *2 申し込み多数の場合、5月15日(金)以前に募集を締め切ることがあります。
- *3 出展に当たっては主催者の審査があります。結果につきましては、事務局よりお知らせします。

出展準備・ここがポイント!

ポイント① 試食・試飲が商談のきっかけに

紙面広告やインターネットでは不可能なことが「試食」です。「試食」により五感を通して“おいしい”や“なるほど”が出展製品へ

の理解を深め、名刺交換や商談のきっかけとなりますので、できる限り実施することをお勧めしています。

▶ 試飲・試食を行う場合は

★保健所への申請が必要となります。申請手続きは、事務局が一括して行いますので、所定の申込書を事務局までご提出ください。

★併せて、会場内に複数力所設置する共同手洗い設備「試食用共有キッチン」(有料)の利用、または、ブース内への手洗い設備・作業台の設置(有料)により、試食・試飲の実施が可能になります。

ポイント② 展示方法の工夫を！

アグリフードEXPOは来場対象者を限定した展示商談会ですので、まず大切なのは、商品や出展者の熱意、姿勢を感じさせることです。バイヤーからは「装飾が立派だったので商談しました」という意見はなく、華美な装飾、大掛かりな予算は不要です。ただ、商品を上手に見せることは必要です。知恵を絞ってひと工夫した展示で、バイヤーにアピールしましょう。

▶ 展示方法のポイント

- ポスターやパネルも重要ですが、バイ

ヤーにとって「実物」は、やはり迫力のあるものです。実物でアピールすることは非常に重要です。

- 来場者が見やすいよう、また手に取りやすいように斜めに陳列(段差のある棚を利用)するなど立体的に展示すると、来場者の目に止まりやすくなり効果的です。

★展示に関わるさまざまな備品をレンタルすることが可能です。椅子やテーブルから冷蔵・冷凍ケースまで幅広くご用意しています(有料)。

ポイント③ パンフレットやチラシを作成しましょう

会場において口頭で伝えるだけでなく、ポイントを記した資料(パンフレットなど)を作成しておきましょう。来場する多くのバイヤーがアグリフードEXPOへの来場後、資料を持ち帰り、社内で検討し、取引決定に至るというプロセスです。その際、特に重要なのがさまざまな紙媒体の資料です。

▶ 資料作成のポイント

- バイヤーの印象に残るよう、インパクトのある内容にしましょう。
- “なるほど”と思わせるポイント(商品の強み)を記載しておきましょう。

- 取扱製品一覧を準備しましょう。「出展品だけではなく、取扱製品一覧や出荷カレンダーがあれば、もっと可能性が広がる」とのバイヤーの意見は多く聞かれます。

▶ 事務局もお手伝い

★開催3カ月前をめどに、出展者の皆さまにプロフィールなどをご提出いただき、出展者・出展製品一覧を作成します。それを事前に主要なバイヤーにお配りすることで、来場者の誘致活動を行っています。

※★は出展者の手続きなどを要する項目です。試食・試飲の申請や備品レンタル、手洗い設備の申し込みなどは会期の2カ月前に提出してください。

お問い合わせ・資料請求・出展申込書提出先

運営事務局

エグジビションテクノロジーズ株式会社

〒107-0062 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館8階

TEL: 03-5775-2855 FAX: 03-5775-2856 E-mail: agri@exhibitiontech.com

出展準備に当たってのお問い合わせやご不明な点は、いつでもお気軽に事務局までご連絡ください。事務局が責任をもって、出展者の皆さまをサポートさせていただきます。

バイヤーが求める逸品のポイントは何？

10回を迎えたアグリフードEXPO東京は、この間に目利きのバイヤーが欲しい「売れる」商品などの情報収集を重ねてきました。求められる商品力とは何か、商談のポイントとはどこにあるのか、とても大事な事柄のいくつかをバイヤーにお聞きしました。

Q アグリフードEXPOに求める商品とは

A つくり手のこだわりが光る「オンリーワン」の商品

あらゆるものが売られているデパートで新たに商品を扱うためには、どこにもない「オンリーワン」商品であることが重要です。すでに取り扱っている商品でもこだわりの生産方法、珍しい品種など、オリジナリティのある商品を探しています。（小売業：百貨店）

A 国産ニーズを満たし、高級感を打ち出せる素材

消費者の国産志向の高まりを感じており、加工素材として地域色のある特産品を探しています。国産ニーズを満たし、高級感を打ち出せる商品開発に力を入れています。

（食品製造業：乾物）

A 地元にはない、地域性豊かな全国の特産品

地元食材はその地域のお客さまにとっては食べ慣れているもの。新鮮味を出すには、地元にはない、全国各地の特産品を弁当に盛り込むことが大切です。他では出会えないEXPOならではのこだわりを持った農家や企業の商品を発掘するため、毎回来場しています。

（中食業：弁当）

A 他店にはない、クオリティが高い食材

他店では使われておらず、独自性を打ち出せる食材を探しています。パートやアルバイトが調理を担当する場合、食材の状態の良さあしを判断できないことがあるため、本来の味や香り、見た目などのクオリティが高いことが条件となります。

（外食業：懐石レストラン）

A まだ世の中になく新商品を共同開発したい

商品の入れ替えに併せて、常に新しい食材を探しています。メインの卸売だけでなく、「世の中になくものをつくりたい」という思いを共有し、OEM対応（他社ブランドの製品を製造すること）が可能なメーカー、一次加工ができる農業者と共に商品を開発したい。

（卸売業：商社）

Q バイヤーをうならせるアピール方法は

A バイヤー目線でメニューの提案を

バイヤーは食材をどうやって消費者に提供するか、常に考えています。バイヤーの目線にたって、「〇〇地方の家庭では、△△料理によく使われます」など、イメージしやすいものでアピールすることも効果的です。(外食業：日本料理店)

素材の紹介だけでなく、メニューの提案をしてほしいです。試食でも、調理済のメニューを提供するといった工夫があると、思わず手が伸びます。どのように調理したらおいしいのかも分かったら、商品化の可能性が広がります。(中食業：弁当)

A バイヤーのアンテナを刺激するPR

新商品やイチオシ商品から定番商品まで用意してできる限り展示し、何点か目立たせることで、さまざまな業種のバイヤーのアンテナに触れることが大切です。もし、種類が少なければ、見せ方に工夫が必要です。(外食業：居酒屋)

その食材を加工した商品を小売店のバイヤーが店頭で陳列したいか、さらに消費者が食べたいと思うか、という点に着目しています。特徴が書かれたPOPやチラシ、工夫した陳列方法を見ると自然と足が止まります。(食品製造業：生菓子)

Q 取引する上での注意点は

A 商談会後のフォローは丁寧、スピーディーに

出展商品に関する質問に対し「後日連絡します」と対応されたのに、連絡がないことがありました。展示商談会の一番の目的は商談の成約です。事後の対応次第で、結果が大きく変わると思います。(宿泊業：ホテル)

商談はリアクションのスピードが大切です。商談会後の対応が遅いと取引後の対応も遅いのかと思ってしまいます。新規取引の場合、すぐに質問に返答していただけないと、商談が流れてしまうこともあります。(小売業：スーパー)

A 商品の基本内容は、前もってインプットを

商品の独自性、こだわり、金額や配送方法など、基本事項についてはすぐに答えられるようにすべきです。おおよそのことが分からないと、話がなかなか進みません。商品に対する知識を身に付け、積極的にPRすることが必要です。(宿泊業：ホテル)

EXPO仲間 この成功者たち

アグリフードEXPOに多数回ご出展いただいている方へ、①リピートして出展している理由、②引き合いの内容、③出展成果などについて、お聞きしました。

有限会社 東雲農園 (秋田県能代市)

DATA：代表取締役/佐藤 正樹 氏 事業内容/稲作
EXPO出展回数：14回(東京・大阪通算)

- ①積極的に販路を開拓したいからです。多くのバイヤーが来場するEXPOは、商談成果と出展準備にかかる時間や費用などを考えても、コストパフォーマンスがよいと思います。
- ②丹精込めたあきたこまちや古代米などを取り扱いたいと、主にテレビショッピングなどの通販会社や卸売業の方から引き合いがあります。EXPOをきっかけとして始まった取引は売上高の多くを占めており、8年前に商談した通販会社とは、今も定期的な取引がありません。
- ③新規の方だけでなく、一日で多くの既往の取引先とあいさつができることです。あいさつから商談になり、取引量が増えたこともありました。毎回大きな商談があるわけではありませんが、継続的に出展して当社を知ってもらい、次の商談につなげることが大切だと考えています。



代表取締役の佐藤正樹氏



株式会社 伊藤農園 (和歌山県有田市)

DATA：代表取締役/伊藤 修 氏 事業内容/果樹(かんきつ類)
栽培、加工
EXPO出展回数：8回(東京・大阪通算)

- ①当社と同じように6次産業化に取り組む農業者が多く出展しており、生産、開発したこだわりの商品の付加価値を認めてくれるバイヤーが多数来場されているからです。
- ②当社自慢のかんきつ類を原料にした無添加のジュースなど、6次産業化で加工した商品を中心に、小売店や百貨店といったバイヤーからオファーがあります。また、会場へご招待した都市圏の既往取引先にも新商品の提案などの営業ができ、継続的な取引に結び付いています。
- ③当社と同じようなコンセプトで出展されている方を見ると刺激になります。また、国産や産直など、原料のよさだけを伝えるのではなく、商品のデザイン、POPなどを工夫して会社の思いまで伝えている出展者を見ると、今後の商品づくりの参考になります。



専務取締役の伊藤彰浩氏



株式会社 ヤマヒサ (香川県小豆郡小豆島町)

DATA：代表取締役／植松 勝久 氏 事業内容／醸造業、
果樹（オリーブ）栽培・加工
EXPO出展回数：11回（東京・大阪通算）

- ①国産農産物や食品に特化した展示商談会であり、付加価値の高い商品を求めて来場するバイヤーが多いからです。当社は国産にこだわったしょう油やオリーブ製品を製造・販売しており、お互いのニーズが合致し、取引につながることが多いのです。
- ②来場する小売業や飲食業のバイヤーから引き合いが多いのですが、出展者からの引き合いもあります。こだわり食材を出展している食品製造業の方から商品の魅力について共感していただき、原料として供給してほしいという話がありました。
- ③他の出展者を見ると、レベルの高い方が多く、刺激を受けます。また、国産品への意識の高いバイヤーが来場するので、商品に対する貴重な生の声をいただけます。今後も新商品ができれば、目利きがよく商品価値が分かるバイヤーから意見を聞いてみたいです。



代表取締役の植松勝久氏



佐賀冷凍食品 株式会社 (佐賀県小城市)

DATA：代表取締役／古賀 正弘 氏 事業内容／卸売業
EXPO出展回数：12回（東京・大阪通算）

- ①来場するバイヤーがこだわりの国産農産物や食品というEXPOのテーマに沿った商品を探しに来ているからです。また、レベルの高い同業者の出展も多く、当社が出展者の方と商談する場合があります。
- ②百貨店、生協、商社など、こだわりの素材や品質を重視するバイヤーから多くの引き合いがあります。単発の商談ではなく、年間を通じた定番品として取引が実現することが多く、販路拡大を力強く後押ししてくれています。
- ③継続的に出展することで、バイヤーへの知名度が上がり、信頼感や安心感の醸成につながっています。後日、当社の商品とマッチする商品企画の際にバイヤーから改めて問い合わせいただくこともあります。今後もEXPOを通じて継続的にPRし、国産を取り扱う食品会社としてのブランドイメージを高めていきたいです。



代表取締役の古賀正弘氏



アグリフードEXPOは、このほか多くの皆さまに出展効果を実感いただいております。ぜひ、ご参加ください。

プロ農業者たちの国産農産物・加工食品展示商談会

第8回 アグリフード EXPO大阪2015

来場者数は 14,956人と過去最多



魅力ある農畜産物や加工品がまだまだ、日本各地には埋もれています。『アグリフード EXPO』では、全国各地のこだわりの逸品に光を当て「農と食」をつないでまいります。

開催内容

■日時：2月19日(木)
10:00～17:00
20日(金)
10:00～16:00

■会場：ATCアジア太平洋
トレードセンター

■出展者数：476先、344小間

■登録来場者数：14,956人
(2月19日…7,934人
20日…7,022人)

※2日間にわたってご来場いただいた方も1人としてカウントされています。

■会期中商談件数：26,408件

■商談引き合い件数：4,915件

注1) 本集計は、出展者から当日提出いただいたアンケート結果に基づくもの

注2) 商談引き合い件数：商談件数のうち、商談会終了後も継続して行う予定の件数



訪れる大勢のバイヤーに商品のアピールにも力が込められます。場内至る所で名刺交換も活発に行われました。





各ブースでは、出展者が色とりどりののぼり旗を揚げたり、展示方法を工夫していました。また、バイヤーに向け、試食・試飲を提供し、自慢の商品をPR。会場内は過去最多の来場者でにぎわいました。出展者の商品を品目別に紹介した「商品展示コーナー」も設置しました。



■ 海外展開相談コーナー

出展者の海外輸出を支援する「海外展開相談コーナー」では、日本貿易振興機構（ジェトロ）、日本貿易保険（NEXI）および輸出の事情に詳しい貿易商社をアドバイザーとしてお招きし、23件の海外展開の相談に応じました。

このうち、有限会社シオールファーム（滋賀県）は、貿易商社の弓場貿易株式会社にタマネギドレッシングの輸出について相談。同社を通じて米国へ輸出することが決定しました。



青年等就農資金で、 新たな農業経営をサポートします！

青年等就農資金は、従来、都道府県が取り扱っていた「就農支援資金」（施設等資金）の内容を拡充して、昨年4月から日本公庫による取り扱いがスタートしました。「新規就農者を倍増させる」という政府の目標を推進する政策性の高い資金で、「無利子」「実質的な無担保・無保証人」という優遇された条件となっています。これまで、異業種からの農業参入や女性の就農など、さまざまな取り組みにご利用いただいています。

▶▶ 資金の具体的なご利用事例

株式会社A（人材育成事業など）

人材育成業や飲食業を営む30代の経営者が、これまでのノウハウを生かし、土地利用型農業の大規模化・効率化を目指して、新たな法人を設立。

旧制度で対応できなかった県の補助事業を導入し、ハウスやトラクターなどの取得に必要な設備資金のほか、肥料・農薬費など長期運転資金として **青年等就農資金** を活用し、野菜生産を開始。

Bさん（40代女性）

20年勤めた旅行業界から一転、生涯やりたいと思った農業の世界に飛び込むため、農業大学校での研修のほか、大学でIT食農先導士養成コースを学ぶ。

農林水産省が推進する「農業女子プロジェクト」や地元の仲間との交流を通じて技術や販路の確保を図るなどの準備を進め、ハウスや機械の取得に **青年等就農資金** を活用し、野菜生産を開始。

青年等就農資金の概要

ご利用いただける方	認定新規就農者 (市町村から青年等就農計画の認定を受けた個人・法人)
資金の使いみち	設備：施設・機械の取得など（農地の取得は除く） 長期運転：農地・施設・機械の賃借料、農薬費など
融資限度額	3,700万円
返済期間	12年以内（うち据置5年以内）
金利	無利子
担保・保証人	原則、融資対象物件以外の担保及び第三者保証人は不要 (実質的な無担保・無保証人)

注1 上記の内容は各資金の要件、条件の抜粋です。詳しくはホームページや最寄りの支店にお問い合わせください。

注2 審査の結果によっては、ご希望に沿えない場合がございます。

無料 メール配信サービス [隔週水曜日配信] 登録受付中

皆さまの経営のお役に立つ「農業景況調査」などの独自調査結果や最新金利といったさまざまな情報をメール配信サービスにて提供しています。

ホームページ (<http://www.jfc.go.jp/a/mailexservice/index.html>) から、ご登録ください。

メール配信サービス 4つの特長

POINT
1

「農業」や「食」に関する
独自調査結果をご提供

全国の農業者（約2万先）を対象とした「農業景況調査」のほか、食品企業（約7000社）、消費者（2000人）などを対象とする調査（それぞれ年2回実施）の結果をご提供します。

POINT
2

資金制度や金利の
最新情報をご案内

新たな資金制度や毎月改定される金利情報、プレス発表している日本公庫の最新の動きをご案内します。

POINT
3

豊富な農業技術情報が
入手できます

農業技術の専門家である日本公庫のテクニカルアドバイザーが、農業・食品分野に関する最新技術情報を「技術の窓」でお伝えします。

POINT
4

情報満載の定期刊物が
閲覧できます

本誌や「AFCフォーラム」のバックナンバーもダウンロードして、ご覧いただけます。

※このほか、皆さまのお役に立つさまざまなコンテンツをご用意しております。

ご登録手順

1

『お申し込み』のアイコンを
クリック

2

必要事項を入力し、『登録』の
アイコンをクリック

3

登録内容を確認し、『送信』を
クリックして完了

皆さまのもっと身近に！

全国で定期相談窓口を開催中

～お気軽にご相談ください～

日本政策金融公庫農林水産事業では、皆さまのお近くの施設で資金や経営に関するご相談をお受けする定期相談窓口を開催しております。

定期相談窓口は事前予約制となっているところもあります。開催の曜日、時間などが都合により変更となる場合もありますので、最寄りの支店（裏表紙掲載）または、お客さまフリーダイヤル（**0120-154-505**）にお問い合わせください。

定期相談窓口設置場所

(2015.2.28現在)

都道府県	相談窓口設置場所	曜日	時間	
北海道	日本公庫釧路支店	第2・4水曜日	12:00～15:00	
青森	五所川原市中央公民館	第2・4水曜日	13:00～16:00	
	三八地域県民局 地域農林水産部	第2・4木曜日	14:30～16:30	
	上北地域県民局 地域農林水産部	第2・4木曜日	10:00～12:00	
岩手	久慈地区合同庁舎	不定期	随時	
	釜石地区合同庁舎	不定期	随時	
	盛岡地区合同庁舎	不定期	随時	
	奥州地区合同庁舎	不定期	随時	
	東北銀行花巻支店	第3火曜日	随時	
宮城	登米市中田農村環境 改善センター	第1水曜日	10:00～12:00	
	JAみやぎ登米 豊里支店	第3水曜日	10:00～12:00	
	JAいわでやま	第1木曜日	10:00～12:00	
	JAあさひな	第2火曜日	13:00～15:00	
	JAみやぎ巨理	第1木曜日	13:00～15:00	
	JAみやぎ仙南	第1水曜日	13:00～14:30	
	JA加美よつば	第2木曜日	12:00～14:00	
	JA仙台	第2木曜日	13:00～14:30	
	東北銀行古川支店	不定期	未定	
	JA栗っこ	第3水曜日	12:00～14:00	
	JAいしのまき	第3木曜日	13:00～14:30	
	JA古川	第4水曜日	10:00～15:00	
	JAみどりの	不定期	未定	
	秋田	JA秋田おぼこ	随時	未定
		JA秋田しんせい	随時	未定
JAこまち		随時	未定	
JA秋田ふるさと		随時	未定	

都道府県	相談窓口設置場所	曜日	時間
秋田	東北銀行鹿角支店	随時	13:00～17:00
	JA大潟村	随時	未定
山形	土地改良事業団体 連合会庄内支所	毎週木曜日	13:00～16:00
	土地改良事業団体 連合会置賜支所	第2・4火曜日	13:00～16:00
福島	会津農業共済組合	第2・4木曜日	13:00～16:00
茨城	日本公庫土浦支店	第2・4木曜日	13:00～16:00
	茨城県鉾田合同庁舎	第2・4水曜日	13:00～16:00
	茨城県筑西合同庁舎	第2・4金曜日	13:00～16:00
	茨城県常陸太田 合同庁舎	第2・4火曜日	13:00～16:00
埼玉	日本公庫熊谷支店	第2・4火曜日	13:00～15:00
栃木	那須塩原市役所	第2・4木曜日	13:00～16:00
	日本公庫佐野支店	第3木曜日	13:00～16:00
群馬	西部農業事務所	第2・4火曜日	13:00～16:00
	吾妻農業事務所	第1・3木曜日	13:00～16:00
	利根沼田農業事務所	第1・3水曜日	13:00～16:00
	東部農業事務所	第2・4水曜日	13:00～16:00
千葉	旭市役所干潟支所	第1・3木曜日	10:00～16:00
	匝瑳市民ふれあい センター	第2・4水曜日	13:00～16:00
	銚子市役所相談センター	第2金曜日	13:00～16:00
	香取市役所本庁舎 701会議室（7階）	第1火曜日 (祝祭日の場合は 第2火曜日)	13:00～16:00
神奈川	JA三浦市初声会議室	第3火曜日	11:00～14:00
	JAさがみ総合経済 センター（御所見支店）	奇数月 第3水曜日	12:00～15:00
新潟	上越地域振興局	第1・3木曜日	未定
	柏崎地域振興局	第1・3水曜日	未定

都道府県	相談窓口設置場所	曜日	時間
新潟	新潟地域振興局 (津川庁舎)	第3水曜日	未定
	新潟地域振興局 (新津庁舎)	第2水曜日	未定
	日本公庫三条支店	第2水曜日	13:00~15:00
	日本公庫高田支店	第3水曜日	13:00~15:00
富山	砺波体育センター 2階研修室	毎週火曜日	12:00~15:00
	入善町中央公民館	第2・4木曜日	13:00~16:00
	日本公庫高岡支店	第3金曜日	12:00~15:00
石川	日本公庫小松支店	第3水曜日	13:00~16:00
山梨	笛吹市春日居あぐり 情報ステーション	毎週木曜日	15:00~17:00
	北杜市長坂総合支所	第1水曜日	13:00~15:00
	北杜市須玉総合支所	第3水曜日	13:00~15:00
	南アルプス市商工会	第2水曜日	15:00~17:00
	富士吉田商工会議所	第4水曜日	13:30~15:30
長野	日本公庫小諸支店	第3水曜日	13:00~15:00
	日本公庫松本支店	第2水曜日	13:00~15:00
	日本公庫伊那支店	第4水曜日	13:00~15:00
岐阜	高山市役所丹生川支所	第2・4水曜日	12:00~16:00
	中津川市役所	第1・3水曜日	12:00~16:00
静岡	富士宮市役所	第4火曜日	10:00~12:00
	富士開拓農協	第4火曜日	13:00~15:00
	JAとびあ浜松 大久保支店	第1・3水曜日	10:00~12:00
	JA遠州中央園芸流通 センター	第3水曜日	14:00~16:00
	JAハイナイン牧之原支店	第2水曜日	10:00~12:00
	JA遠州夢咲大坂支店	第2水曜日	14:00~16:00
滋賀	高島地域農業センター	第4水曜日	13:00~15:00
	甲賀地域農業センター	第3水曜日	13:00~15:00
	東近江地域農業センター	第2水曜日	13:00~15:00
	湖東地域農業センター	月1回土曜日	終日
兵庫	日本公庫豊岡支店	第3水曜日	13:30~16:00
	日本公庫姫路支店	第3火曜日	13:30~16:00
	淡路市立中央公民館 しづのおだまき館	第3水曜日	13:30~16:00
和歌山	日本公庫田辺支店	第1・3水曜日	13:00~16:00
	みなべ町役場	第4水曜日	13:00~16:00
鳥取	鳥取県西部総合事務所	第2・4火曜日	13:00~16:00
	鳥取県中部総合事務所	第1・3火曜日	13:00~16:00
島根	JAいずも本店	第2水曜日	15:00~17:00
	島根県西部農林振興 センター	随時	未定
	島根県西部農林振興 センター-益田事務所	随時	未定
	JA雲南本店	毎月10日	15:00~17:00
	JA石見銀山本店	第3火曜日	13:00~16:00

都道府県	相談窓口設置場所	曜日	時間
島根	大田商工会議所	第1金曜日	13:00~15:00
	益田商工会議所	第2水曜日	13:30~15:00
岡山	おかやま酪農業協同 組合本所	第4週の 火曜日	10:00~15:00
	真庭市蒜山振興局	第2週の 木曜日	10:00~15:00
	備中県民局井笠支局	第3週の 木曜日	10:00~15:00
	備中県民局新見支局	第3週の 火曜日	10:00~15:00
広島	JA三次本店	第1・3水曜日	13:00~16:00
	JA庄原本店	第1・3水曜日	10:00~14:00
	日本公庫福山支店	第2金曜日	13:00~16:00
山口	JA下関本所	第1水曜日	13:00~16:00
	萩市役所市民館	偶数月 第2火曜日	13:00~16:00
	JA長門大津宮農 センター	偶数月 第4火曜日	13:00~16:00
	JA周南本所	偶数月 第4木曜日	13:00~16:00
香川	西讃農業改良普及 センター	第3火曜日	13:30~16:00
	東讃農業改良普及 センター	第2木曜日	13:30~16:00
	中讃農業改良普及 センター	第3木曜日	13:30~16:00
愛媛	JAえひめ南口ローン センターみなみ	奇数月 第2木曜日	13:00~15:00
	日本公庫新居浜支店	第3木曜日	13:30~16:00
	愛南町農業支援 センター	偶数月 第2木曜日	13:00~15:00
高知	JA土佐あき本所	奇数月 第2木曜日	13:00~16:00
	JA高知はた本所	偶数月 第4木曜日	13:00~16:00
福岡	八女普及指導センター	第3水曜日	13:00~16:00
	久留米普及指導センター	第3水曜日	13:30~16:00
	飯塚普及指導センター	第4水曜日	13:30~16:00
	半田税理士事務所	第3水曜日	13:30~16:30
佐賀	JAさが白石地区 統括支所営農センター	毎週水曜日	13:30~16:30
長崎	県央振興局 (農林部各地域普及課)	第2火曜日	13:30~16:30
	島原振興局西八幡庁舎 (農林水産部各地域普及課)	第2水曜日	13:30~16:30
	県北振興局吉井庁舎 (農林部各地域普及課)	偶数月 第2木曜日	13:30~16:30
熊本	日本公庫八代支店	第2火曜日	13:00~15:00
大分	日田総合庁舎	第3水曜日	11:00~16:00
	宇佐総合庁舎	月1、2回	10:00~17:00
	国東総合庁舎	月1回	10:00~17:00

公庫本支店窓口のご案内

資金のご利用や経営に関するお問い合わせ・ご相談は、お近くの窓口
またはホームページ (<http://www.jfc.go.jp/>) へ、お気軽にどうぞ

店名	郵便番号・住所	代表電話番号
札幌支店	〒060-0001 札幌市中央区北1条西2-2-2 北海道経済センタービル4階	011-251-1261
北見支店	〒090-0036 北見市幸町1-2-22	0157-61-8212
帯広支店	〒080-0010 帯広市大通南9-4 帯広大通ビル3階	0155-27-4011
青森支店	〒030-0861 青森市長島1-5-1	017-777-4211
盛岡支店	〒020-0024 盛岡市菜園2-7-21	019-653-5121
仙台支店	〒980-8454 仙台市青葉区中央1-6-35 東京建物仙台ビル11階	022-221-2331
秋田支店	〒010-0001 秋田市中通5-1-51 北都ビルディング4階	018-833-8247
山形支店	〒990-0042 山形市七日町3-1-9 山形商工会議所会館3階	023-625-6135
福島支店	〒960-8031 福島市栄町6-6 NBFユニックスビル3階	024-521-3328
水戸支店	〒310-0021 水戸市南町3-3-55	029-232-3623
宇都宮支店	〒320-0813 宇都宮市二番町1-31	028-636-3901
前橋支店	〒371-0023 前橋市本町1-6-19	027-243-6061
さいたま支店	〒330-0802 さいたま市大宮区宮町1-109-1 大宮宮町ビル6階	048-645-5421
千葉支店	〒260-0028 千葉市中央区新町1000 センシティタワー 14階	043-238-8501
東京支店	〒100-0004 千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー 2階	03-3270-9791
横浜支店	〒231-0023 横浜市中区山下町89-6 プライムタワー横浜8階	045-641-1841
新潟支店	〒950-0088 新潟市中央区万代4-4-27 NBF新潟テレコムビル3階	025-240-8511
富山支店	〒930-0004 富山市桜橋通り2-25 富山第一生命ビル2階	076-441-8411
金沢支店	〒920-0919 金沢市南町6-1 朝日生命金沢ビル5階	076-263-6471
福井支店	〒918-8004 福井市西木田2-8-1 福井商工会議所ビル3階	0776-33-2385
甲府支店	〒400-0031 甲府市丸の内2-26-2	055-228-2182
長野支店	〒380-0816 長野市三輪田町1291	026-233-2152
岐阜支店	〒500-8844 岐阜市吉野町6-31 岐阜スカイウイング37西棟3階	058-264-4855
静岡支店	〒420-0851 静岡市葵区黒金町59-6 大同生命静岡ビル6階	054-205-6070
名古屋支店	〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-25-9 堀内ビル6階	052-582-0741
津支店	〒514-0021 津市万町津133	059-229-5750
大津支店	〒520-0051 大津市梅林1-3-10 滋賀ビル地下1階	077-525-7195
京都支店	〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町101 アーバンネット四条烏丸ビル4階	075-221-2147
大阪支店	〒530-0057 大阪市北区曽根崎2-3-5 梅新第一生命ビルディング8階	06-6131-0750
神戸支店	〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-7-4 ハーバーランドダイヤニッセイビル11階	078-362-8451
奈良支店	〒630-8115 奈良市大宮町7-1-33 奈良センタービルディング5階	0742-32-2270
和歌山支店	〒640-8158 和歌山市十二番丁58	073-423-0644
鳥取支店	〒680-0833 鳥取市末広温泉町723 鳥取県JA会館6階	0857-20-2151
松江支店	〒690-0887 松江市殿町111 松江センチュリービル7階	0852-26-1133
岡山支店	〒700-0904 岡山市北区柳町1-1-27 太陽生命岡山柳町ビル9階	086-232-3611
広島支店	〒730-0031 広島市中区紙屋町1-2-22 広島トランヴェールビルディング6階	082-249-9152
山口支店	〒753-0077 山口市熊野町1-10 ニューメディアプラザ山口4階	083-922-2140
徳島支店	〒770-0856 徳島市中洲町1-58	088-656-6880
高松支店	〒760-0023 高松市寿町2-2-7 いちご高松ビル3階	087-851-2880
松山支店	〒790-0003 松山市三番町6-7-3	089-933-3371
高知支店	〒780-0834 高知市堺町2-26 高知中央ビジネススクエア3階	088-825-1091
福岡支店	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-21-12	092-451-1780
佐賀支店	〒840-0816 佐賀市駅南本町4-21	0952-27-4120
長崎支店	〒850-0057 長崎市大黒町10-4	095-824-6221
熊本支店	〒860-0801 熊本市中央区安政町4-22	096-353-3104
大分支店	〒870-0034 大分市都町2-1-12	097-532-8491
宮崎支店	〒880-0805 宮崎市橋通東3-6-30	0985-29-6811
鹿児島支店	〒892-0821 鹿児島市名山町1-26	099-805-0511
本店	〒100-0004 千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー	0120-154-505 (お客様専用) 03-3270-4116

アグリ・フードサポート (2015.4)

制作 (株)日本政策金融公庫 農林水産事業本部 〒100-0004
 情報企画部 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー
 TEL 03-3270-2268 URL <http://www.jfc.go.jp/>